

新学習指導要領に対応した算数授業とは

教材「アイテム」で活用力を育てる

思考力を育てる題材にも

新学習指導要領への移行期間を前に、主体的・対話的な学びや活用力の育成につながる授業のあり方が検討されている。NPO法人次世代教育推進機構と、筑波大学附属小学校・算数研究部が協働開発した教材「アイテム」は、「学習テーマの理解」「習得」「活用」「探究」と段階的に力を伸ばせる構成と良質な問題で、活用力の育成はもちろん、学び合う授業の題材にもなることと評価されている。各校での授業改善の取り組みと教材活用のポイントを紹介する。

子ども自身が考え対話する授業へ

群馬県・高崎市立南小学校

高崎市立南小学校では、新学習指導要領に対応した授業改善に全校で取り組んでいる。授業の型づくり、学校全体で推進している。

授業改善の題材に「アイテム」採用

高崎市立南小学校では、新学習指導要領に対応した授業改善に全校で取り組んでいる。授業の型づくり、学校全体で推進している。

低学年からの学び合いを重視

高崎市立南小学校では、新学習指導要領に対応した授業改善に全校で取り組んでいる。授業の型づくり、学校全体で推進している。

活用能力育成を目指し全学年で導入

山形県・酒田市立亀ヶ崎小学校

授業設計を考える材料にも

山形県・酒田市立亀ヶ崎小学校

相乗的な学力向上にも期待

山形県・酒田市立亀ヶ崎小学校

算数の得意な子をさらに伸ばす教材

山形県・酒田市立亀ヶ崎小学校

活用する力を身につける

山形県・酒田市立亀ヶ崎小学校

表現力の育成にも

山形県・酒田市立亀ヶ崎小学校

算数を面白いと感じる子どもを増やす

山形県・酒田市立亀ヶ崎小学校



授業では「アイテム」の位置づけや使い方を、この共通理解の下で、学習のねらいに沿った活用を進めている。

「子ども自身が考え対話する授業へ」

「活用能力育成を目指し全学年で導入」

「授業設計を考える材料にも」

「相乗的な学力向上にも期待」

算数を糸口に各教科の学力向上へ

岐阜県・関市立南ヶ丘小学校 考える楽しさが意欲高める

関市立南ヶ丘小学校では昨年度から「アイテム」を導入し、現在は2年生以上の授業で使用している。算数の学力向上を図るため、昨年度の5年生から2コースでの少人数指導を採用。遠藤和弘教務主任らが指導にあたった。

学力の基盤は思考力

「仲間と考えを出し合うことで、一人で解けなかった難しい問題も解ける。自分の考えが認められることで自信を持ち、算数が好きになる。この体験を積み重ねることが大切だ」



考える楽しさを味わえることができると声を揃える 酒井田校長(右)と遠藤教務

「アイテム」こう使おう!

筑波大学附属小学校・算数研究部

- 活用する力を身につける**
「アイテム」では、各単元において習得・活用・探究にあわせて構成されています。習得では小範囲に使えるように1ページを2分割し、活用探究では、面白い内容を精選し、知的好奇心を満たす工夫を凝らしています。
- 表現力の育成にも**
「アイテム」では計算ドリルから発展問題まで様々なタイプの問題を用意しています。基礎・基本の定着はもちろん、発展的な問題を使うことで、基礎・基本を活用する面白さを味わうことをねらっています。考え方を記述式で問う問題も用意し、表現力を高めるのにも効果的です。
- 算数を面白いと感じる子どもを増やす**
「アイテム」には、すでに算数的活動が展開できる授業実践を、各領域について「授業でわかる!」と題し紙上で再現しています。「算数って面白い!」と感じる子どもを増やすことにつながればと思っています。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む

「アイテム」算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方のアイデアを結集させて作られました。取り組み方や進め方が分かりやすく、達成感が得られる問題集です。

- Point 1 各単元を4つのステップで構成
- Point 2 スパイルに活用できる計算ドリル
- Point 3 算数研究部の授業を体験
- Point 4 領域で別週しを持たせる
- Point 5 評価テストも充実

「アイテム」採択校に充実した指導ツール「i・temプラス」を無料提供!

「i・tem プラス」…各単元ごとに4種類のテストを用意しました。それぞれを50点満点のテストとして使うこともできますが、組み合わせることで目的の難度の100点満点テストが出来上がります。

A [確かな力]	基本事項の確認テストです
B [活用する力]	応用事項の確認テストです
A+ [確かな力プラス]	基本事項の定着テストです
B+ [活用する力プラス]	応用事項の実力テストです